

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 笠岡工業 高等学校
実践場面	実習機器（ドラフター）の現物寄附
実践日時（時期）	令和6年11月21日（木）
対象生徒（学年）	環境土木科
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 県教委の「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」を活用 ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最先端の技術・設備の見学 <input checked="" type="checkbox"/> その他

実践の内容

【背景】

- ・ 専門高校では実践的・体験的な学びを行うため、多くの実習・実験機器や設備を整備しているが、整備のための予算には限りがある。
- ・ 県教育委員会では、県立学校の設備・備品の老朽化や、ICT機器の導入などの新たな教育環境整備のニーズに対応するため、企業、団体、個人などから県立学校の職業教育で使用する実習機器などの提供を募る「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業（現物寄附関係）」を実施している。
- ・ 笠岡工業高校環境土木科では、普段の「製図」の授業による製図の学習はもちろんのこと、中国地区の工業高校の生徒が製図技術を競う「中国地区土木系製図コンクール」にも取り組んでおり、それらに使用するドラフター（製図器）の更新を希望していた。



【実践内容】

- ・ 株式会社セイキから笠岡工業高校が希望する仕様に合致するドラフターの寄附の申出があった。
- ・ 11月21日（木）に笠岡工業高校でドラフターの贈呈式を行い、ドラフターを寄附いただいた株式会社セイキへ感謝状を贈呈した。なお、感謝状は笠岡工業高校が所有するレーザー加工機を使用し、アクリル板へ文字等を彫刻して自作した。
- ・ 贈呈式後には、寄附いただいたドラフターを実際に使用している授業の様子を見学していただいた。



実践による効果等

- ・ 授業はもちろんのこと、中国地区土木系製図コンクールにチャレンジする生徒にとって、よりよい環境で製図の作業に取り組めるようになった。
- ・ 実際に活用している状況を見ていただくことで、企業の方に工業高校の学びを知ってもらう機会となった。